

7月号

School Aid Japan Cambodia

スクール・エイド・ジャパン・カンボジア



Dream通信

2009. 7. No.16

「夢カウンセリング」を実施 ～子どもたちの進路調査および実地調査を行いました～



園での進路調査。通訳を通して、子どもたちの夢について聞き取りをしています。



プノンペン市内の様子。たくさんの人で賑わい活気があります。



プノンペンにある美術大学。施設内の見学などもさせていただきました。

①子どもたちの夢を調査

今回のドリーム通信では、先月行われた夢カウンセリングについてお伝えいたします。「夢追う子どもたちの家」の運営方針は「80人の子どもたちの幸せのためだけに運営する」「私たちは、夢が叶うまで、その夢と伴走する」です。1人1人の子どもたちの夢に寄り添い、自分の夢を叶えるためにはどういう学校に行けばよいのか、どういう資格がいるのか、今自分たちに足りないことはどんなことなのか、などを子どもたちと話し合います。今回は学校教育の一環として「夢教育」を実践している、東京都の郁文館夢学園の先生に、指導をしていただきました。約1カ月間のカンボジア滞在で、園での子どもたちとのカウンセリングや、首都プノンペンでの実地調査などをしていただきました。夢カウンセリングでは、まず子どもたちに将来どのような職業に興味があるのかをカウンセリングすることから始まりました。対象は小学校5年生から中学校2年生の子どもたちで、学年ごとに行われました。目指す夢は、医者、教師、バスドライバー、エンジニア、絵描き、歌手、経営者、など多岐にわたりました。この情報をもとにプノンペンでの実地調査を行っていただきました。

②プノンペンでの実地調査

カンボジアと日本とでは資格の取得方法や、職を見つけるまでのプロセスが異なる場合があるため、プノンペンでの実地調査を行っていただきました。各職業関係者や大学なども訪問し、どのように今の仕事に着くことができたのか、資格は必要なのか、また大学に入学するための条件は何か、どのような勉強をするのかなど、その仕事に関わっている方々や学生からも情報収集を行っていただきました。

③子どもたちへの進路指導

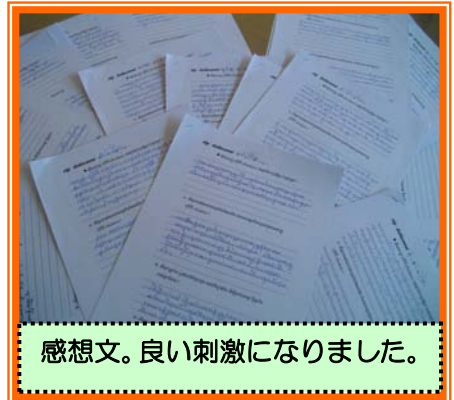
ブノンペンでの調査の後に、再び園に滞在していただき、調査資料をもとに子どもたちへの進路指導をしていただきました。興味のある職業に就くには、どの学校で何年間勉強する必要があるなど、具体的に話をさせていただきました。自分の将来についての話だけに、子どもたちの目もいつも以上真剣でした。先生の話が終わると、子どもたちからたくさん質問があり、先生を驚かせていました。子どもたちからの質問に1人1人丁寧に指導をしていただきました。



真剣に話を聞く子どもたち。



アンケートに記入中です。



感想文。良い刺激になりました。

夢カウンセリングを終えて、子どもたちの感想

Q1、夢カウンセリングにどんな印象を持ちましたか？

「私は先生と私の将来のことや、仕事についてお話ができてとてもうれしかったです。先生はとってもいい先生だと思います。私たちを手助けしてくれるからです。」(中学一年生男子)

「私の将来にとってとてもためになりました。私の将来について先生が話してくれて、私に何をすべきかを理解させてくれました。そして、私を勇気づけ、希望を持たせてくれて、うれしかったです。私は一所懸命勉強して夢をかなえようと思いました。」(中学二年生女子)

Q2、夢カウンセリングを続けたいですか？

「私はこの夢カウンセリングを続けたいです。なぜなら私は、自分の職業についてちゃんと知りたいからです。私は先生に仕事の見つけ方についてもっと教えてもらいたいです」(小学六年生男子)

「私はこのカウンセリングを本当に続けたいです。私にとって仕事についての情報を知り、理解することができるし、また、学習をするための良い刺激になるからです」(中学一年生女子)

Q3、今夢をかなえるのに不足しているのはなんですか？

「夢を叶えるために、今の私の勉強はまだ十分でないし、モラルは完璧でないし、マナーも良くないです。そして、私が経済の勉強をするには年齢が足りず、十分に分かりません。でも私は一生懸命努力し、私の仕事と将来の夢をかなえるために勤勉であろうと思います」(中学一年生女子)

この夢カウンセリングのあと、子どもたちの行動が少し変わりました。勉強が苦手な子が、宿題を欠かさずやるようになりました。今まであまりお手伝いをしなかった子が、お手伝いをするようになりました。目標への道が明確になることで、子どもたちの日々の生活態度も変わることを感じました。今回大変お世話になった郁文館夢学園の先生に、深くお礼を申し上げます。これからも「夢追う子どもたちの家」では、一人ひとりの夢と寄り添う「夢カウンセリング」を継続して行っていきます。